

やまなし 市議会だより

平成19年11月21日

第1号

— 焼山峠周辺 観光地美化清掃 —



11月9日、秩父多摩甲斐国立公園内の環境美化を目的に、毎年実施している秋の観光地美化清掃が焼山峠周辺で行われ、市内各団体から約120人が参加して各箇所の清掃活動を行いました。

当日は、市議会議員も参加して、川上牧丘林道の柳平から六本榎峠までを清掃し、たくさんのごみを回収しました。

平成18年度各会計決算を認定

— 一般会計歳出決算額 165億1,223万円余 —

平成19年第3回定例会は、9月3日に招集され、28日までの26日間の会期で開催されました。

この定例会では、補正予算、条例の改正など市長提出議案18件、議員提出議案1件を慎重に審議しました。この結果、すべての議案を原案のとおり可決、承認しました。また、平成18年度各会計歳入歳出決算認定議案2件については、決算特別委員会で審査が行われ、本会議で認定されました。

なお、請願については1件が採択され、継続審査となっていた請願第1号については、閉会中もなお継続審査とすることに決定しました。

おもな内容

定例会で決まった議案	2	市政一般質問	5～6
平成18年度決算を認定	3	常任委員会の審査	7
市長行政報告	4	議会活動日誌	8

定例会で決まった議案

【議員提出議案】

原案可決

- 山議案第三号
・日豪EPA交渉に関する意見書

【市長提出議案】

原案可決

- 議案第七十二号
・政治倫理の確立のための山梨市長の資産等の公開に関する条例等の一部を改正する条例について
- 議案第七十五号
・平成十九年度山梨市一般会計補正予算(第四号)
- 議案第七十六号
・平成十九年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
- 議案第七十七号
・平成十九年度山梨市下水道事業特別会計補正予算(第一号)
- 議案第七十八号
・平成十九年度山梨市浄化槽事業特別会計補正予算(第一号)
- 議案第七十九号
・平成十九年度山梨市介護保険特別会計補正予算(第一号)

号)

- 議案第八十号
・平成十九年度山梨市居宅介護支援特別会計補正予算(第一号)
- 議案第八十一号
・平成十九年度山梨市居宅介護予防支援事業特別会計補正予算(第一号)



定例会本会議の様子

- 議案第八十二号
・平成十九年度山梨市牧丘簡易水道特別会計補正予算(第一号)
- 議案第八十三号
・平成十九年度山梨市三富簡易水道特別会計補正予算(第一号)
- 議案第八十四号
・平成十九年度山梨市活性化事業特別会計補正予算(第一号)

一号)

原案承認

- 議案第八十五号
・平成十九年度山梨市水道事業会計補正予算(第一号)
- 議案第八十八号
・山梨南中学校耐震補強大規模改修事業山梨南中学校耐震補強大規模改修建築主体工事請負変更契約について
- 議案第七十三号
・専決処分承認を求めるところについて(平成十九年度山梨市一般会計補正予算(第二号))
- 議案第七十四号
・専決処分の承認を求めるところについて(平成十九年度山梨市一般会計補正予算(第三号))
- 議案第八十六号
・平成十八年度山梨市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第八十七号
・平成十八年度山梨市公営企業会計歳入歳出決算認定について

原案認定

- 諮問第二号
・人権擁護委員候補者の推薦について

原案のとおり異議なく答申

- 東 山田 勝彦

決算特別委員会を設置

第三回定例会に提出された平成十八年度各会計歳入歳出決算認定議案二件については、執行の実績を確認し、その内容を審査するため、委員八名で構成する「決算特別委員会」を設置し、同委員会に付託の上、今定例会中に審査することに決定しました。

なお、例年十月に審査していた決算特別委員会ですが、今年度については、九月定例会会期中に審査・認定を行うことにより、来年度予算編成に反映できるとともに、市民等に対しても早期の情報開示が出来るよう議会運営の改革を行いました。

委員

- 委員長 星野 洋
- 副委員長 古屋 保男
- 委員 岩崎 友江
- 委員 吉田 昭男
- 委員 小野 鈴枝
- 委員 仲澤 正巳
- 委員 向山 輝
- 委員 雨宮 巧

審査された議案

- 議案第八十六号
・平成十八年度山梨市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第八十七号
・平成十八年度山梨市公営企業会計歳入歳出決算認定について

請願の審査結果

今定例会に提出された請願は、建設経済常任委員会審査を行い、つぎのような結果となりました。

◆採択となったもの

- 請願第二号
・「日豪EPA交渉」に関する請願書

請願第一号は継続審査

前回からの継続審査となっていたつぎの請願については、閉会中もなお継続審査することに決定しました。

- 請願第一号
・「公契約法」の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する請願書

【注】EPAとは：特定の二国間又は複数国間で、貿易・投資の自由化・円滑化の促進等、

案については、つぎのとおりです。

平成十八年度決算を認定

平成十九年第三回定例会において設置された決算特別委員会は、平成十九年九月二十二・二十一・二十五日の三日間にわたり開催され、平成十八年度各会計歳入歳出決算認定議案二件について、効率的に執行がなされたかなど慎重に審査が行われました。

決算特別委員会の報告を受け、本会議では議案第八十六号のうち、山梨市一般会計歳入歳出決算認定については賛成多数で、各特別会計歳入歳出決算については全会一致で認定しました。議案第八十七号は全会一致により認定しました。

なお、委員会における質疑の要旨はつぎのとおりです。

決算特別委員会における質疑(要旨)

問 財政状況に関連して、公債費負担比率が一七・六%ということ、合併前の旧山梨市と比べて、パーセントが高くなっている。その要因は、国の補助事業や交付税措置を行う市単独事業が増えているからか。また、合併特例債の限度額は、一三四億九千七百万円と思うが、十八年度

決算が終わった時点でどのくらい特例債が使われているのか。公債費は、元利を合わせて、二十五億ほど返済されているが、返済期間の長いものや金利の高いものを優先的に、あるいは一括返済することができないのか。

答 公債費負担比率については、地方交付税や地方税などの一般財源総額が減額になっていることが一番の理由に挙げられる。各年度の公債費負担比率は十六年が一七・二%、十七年が一七・四%、十八年が一七・六%であり、少しずつ上昇してきている。合併特例債を原資として、十七年度・十八年度の二カ年で地域振興基金への積み立てを四億七千五百万円ずつ行い、合併特例債は総額で一九億二千六十万円となっている。公債費は、以前は公的資金の場合には繰上償還が認められなかったが、実質公債費比率がある程度の水準を超えている団体は、繰上償還を認める制度に改正となった。また、五%あるいは七%以上の団体に付いて保証金なしの繰上償還できるような協議を進めているところである。高金利のもの

のを今の金利に合うように借り換え措置をして、繰上償還をしていく方法を現在検討している。



決算特別委員会の様子

問 合併特例債は、まもなく償還が始まるが償還計画は現在どのような進行状況か。また、現在の経常収支比率八六・六%に対する考えは。

答 合併特例債の現在の計画については、新市まちづくり事業計画で平成二十六年まで一三三億七千万円ほどの事業を予定しており、それに対して現在の計画では、合併特例債は一一七億五千万円を予定している。また、経常収支比率について高くなっているが、国からの地方交付税などの経常的な一般財源が目減りしてきたことが原因に挙げられる。特に平成四年度以降の経常収支比率はこの団体も軒並み高くなってきている。今後、自主財源

である地方税等の市税を少しでも伸ばしていきたいと思っ
ている。また、歳出を切り詰めて経常収支比率を抑えていくような取り組みに努めているところであり、各課へもそのように指導している。
問 グリーンツーリズム推進経費として、水口地区に総事業費二千二百万円ほどかけて事業を行ったが、完成はしているのか。また、完成後の維持管理はどうするのか。
答 この推進経費は、水口地区の棚田の景観保全や地域の活性化のためのグリーンツーリズム事業等の舞台づくりであり、遊歩道や散策道の整備を行った。十九年度遊歩道の残る区間の整備を実施して終了する。散策道の維持管理については、水口地区に「水口地区元氣な邑づくり推進協議会」という組織があるの
で、この組織が管理すること
になっている。



グリーンツーリズム事業により整備が進む水口地区内の遊歩道

二十五日の委員会最終日の審査のあと、日下部小学校耐震補強大規模改修工事後の現状を視察し、児童生徒の安全安心の確保を図るため、他の学校も計画的な事業推進の必要性を実感しました。

現地調査

二十五日の委員会最終日の審査のあと、日下部小学校耐震補強大規模改修工事後の現状を視察し、児童生徒の安全安心の確保を図るため、他の学校も計画的な事業推進の必要性を実感しました。



日下部小学校を現地調査する委員

要望事項

当委員会では最終日につきのような要望を集約し、市執行部に対し要請しました。

○各会計において、委託料が多額の支出となっているが、業務委託等する場合は、昨今の厳しい財政状況に鑑み、職員で行える業務かなど業務内容を充分精査・検討し、慎重な判断をされた
い。

○各課の職員においては、課題解決のための努力が見受けられるが、更に慎重な財政運営を希望する。

市長 行政報告

〈要旨〉

平成十九年九月三日、第三回定例会（九月）初日、中村市長より提出議案の概要の説明及び当面する市政の課題や取り組み状況についての説明がありました。

〈新庁舎整備事業について〉

・六月末に動力棟・組合棟などの解体工事を指名競争入札で執行した。現在、動力棟、組合棟、プレハブ倉庫、新庁舎の入り口となる西側の守衛所など地上建物は、ほぼ解体撤去が終了し、基礎の撤去工事を進めている状況である。

〈国民健康保険財政調整交付金の過大交付について〉

・厚生労働省への返還金については、財政調整基金として積み立てしている額が、二億二千二百四十七万円余あるが、県の貸付金制度を利用し、最長十年間の償還期間を適用することで検討していきたい。

〈恋人の聖地について〉

・静岡県の NPO 法人「地域活性化支援センター」が、全国各地の観光エリア、施設を対象に選定しており、今回笛吹川フルーツ公園が「恋人の聖地」として選定された。市では今後、「恋人の聖地」の銘版を設置する他、お見合いパーティーの開催も検討し、「恋人の聖地」を積極的に活用した観光振興を目指していきたい。



「恋人の聖地」に選定された笛吹川フルーツ公園

〈旧中村邸跡地の活用について〉

・地域交流センター建設については、本年度中に設計業務に着手し、平成二十一年度工事着手、平成二十一年度完成を目指している。
・オーチャードヴィレッジ・フアの指定管理者について

・山梨市公の施設指定管理者選定委員会において第一次、

第二次審査を行った結果、一社を指定管理者の候補者に選定したところである。

〈観光宣伝について〉

・県民情報プラザで開催されている風林火山博では、山梨県内の各地域を紹介する「市町村の日」第一号として山梨市が参加した。ワイン組合や観光協会、JAF フルーツ山梨と連携し、和菓子、ワイン、桃など特産物の販売を行い、山梨市の魅力を PR してきた。

〈森林セラピーの推進について〉

・本年三月、三富川浦西沢溪谷周辺が、森林セラピー基地として認定されて以来、三富森林セラピー研究会を中心に、来年四月の本格始動に向けたモニターツアーの実施や、森林セラピー基地、万力公園、更に市内の森林を案内する森林セラピー案内人の養成に入っている。

〈やまなしライフ体験事業について〉

・「空き家バンク」制度については県外からの問い合わせが多く、見学相談会への参加者はこれまで百二十人を超え、成約件数も九件の実績を積み上げているところである。県では田舎暮らし体験の実践やそのための受け入れ体制の整備及び二地

域居住や交流・居住による地域の活性化を支援するための補助事業として、「やまなしライフ体験事業」を新たに創設したところである。

〈農業振興地域整備計画見直しの進捗状況について〉

・新市農業振興地域整備計画を極力早期に策定すべく、県及び関係機関と協議を重ねている。現在は、県で国との協議を行っているところである。

〈農林業振興指針の策定について〉

・本年度は、振興指針策定のための基礎調査を実施し、今後、策定委員会を立ち上げ、意見交換会等を実施し、関係機関等の意見を参考にしながら、平成二十一年度中に策定していきたいと考えている。

〈根津記念館について〉

・整備済の根津記念館主屋、土蔵及び長屋門については、国登録有形文化財の登録に向け申請しているところである。

〈小中学校の耐震補強計画について〉

・文部科学省では、全国の学校施設の耐震化に向けて、平成二十年度より公立学校耐震五カ年計画が策定された。本市においても「新・学校施設耐震補強四カ年計

画」を策定し、平成二十年度より四カ年で、市内全ての小・中学校の校舎及び屋内運動場の耐震補強工事を行うこととした。

〈小中学校特別支援教育支援員について〉

・特別支援教育を推進するため学校教育法等が改正された。この趣旨に則り特別支援教育を積極的に推進することとして、十月から該当する市内十一の小中学校への配置を目指している。

〈文部科学省の委託事業について〉

・地域ぐるみみ学校安全体制整備推進事業、地域ぐるみみ学校施設防犯・安全点検支援事業、幼稚園における教育課題に対応した実践的調査研究事業の三件の委託事業は、今議会に補正予算を提案しているが、国・県からの委託金で全額措置されるので市の財政負担はないこととなる。

〈水道料金見直しについて〉

・現状のサービス水準で事業経営を行っていくことが困難な状況であり、平成二十年度以降の水道料金の見直し及び料金統一について諮問を行い、山梨市水道審議会においてご審議いただき、十一月月上旬には答申をお願いしたいと考えている。

市政一般質問

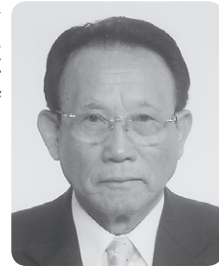
代表・一般

平成19年第3回定例会の市政一般質問及び質疑は、9月13日、14日の2日間行われ、代表質問を2人の議員が、一般質問を5人の議員が行い、市政全般について市の考えをたしました。

質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

代表質問

真和会 志村 忍



〈質問事項〉

- ・十八年度決算について
- ・災害について
- ・国民年金について
- ・国保財政調整交付金の過大交付の問題について
- ・医療費適正化計画の策定状況について
- ・高齢者の健康について
- ・広域医療連携体制について
- ・商工業振興について
- ・農業振興について
- ・学習指導要領の改訂について

〈主な質問と答弁〉

問 十八年度決算について
本年一月から三月にかけて、県職員と合同で滞納整理を行ったが、その効果等はどうのような状況か。

答弁

市長

本市には、平成十九年一月から三ヶ月間にわたり三人の職員が派遣され、その間の事案処理件数は七十八件、金額は二千八百七十二万二百

九円であった。そのうち実際に収納された税は四百八十八万三千四百八円である。差し押さえ件数は、預貯金六件、給与四件、動産一件の合計十一件である。三ヶ月という短い期間の中で収納までこぎつけることは大変困難であるが、その成果はこれからの税収納に反映してくると思われる。

問 災害について
本市がもし震度六の地震に見舞われた場合、どのような処置をとられるのか。



地域における防災訓練の様子

答弁

市長

消防機関及び自主防災組織による救助活動及び消火活動を行うとともに、直ちに災害対策本部を設置し、県防災関係機関と緊密な連絡のもと、まず、災害応急対策活動の実施に必要な人員を配置する職員配備をはじめ、市のみ

では迅速な災害、応急対策及び災害復旧の実施が困難な場合には、県はもとより災害復旧協定を結んでいる市内六団体、相互援助協定の締結市や他の市町村及び陸上自衛隊北富士駐屯地第一特化隊に応援を速やかに要請する応援要請、また被害状況収集報告、災害通信確保などを講じ、市民の身体生命の保護を最優先に、市民の皆様のご自助、共助の協力を得て対処していきたい。

中清会 小野 鈴枝



〈質問事項〉

- ・要援護者名簿についての本市の状況について
- ・企業誘致について
- ・男女共同参画推進委員会について
- ・予算特別委員会設置について
- ・後期高齢者医療制度について
- ・消える産婦人科問題について
- ・コムスン問題（介護保険）について
- ・まちおこしについて
- ・中村邸跡地について

・授業時間数の増加に伴う夏季休業と二期制の関連等について

・不登校・児童虐待・特別支援教育について

〈主な質問と答弁〉

問 要援護者名簿についての本市の状況について

要援護者の名簿の整備や災害の際の安否確認、避難をスムーズに行うための「避難支援計画」の作成状況はどうか。

答弁

市長

現在は、災害時の要援護者台帳を整備する段階であるので、要援護者登録申請書が提出された時点で必要な情報をきめ細かく把握して、山梨市要援護者避難支援マニュアルを策定していきたい。

問 消える産婦人科問題について
塩山市民病院が九月末で分娩を中止するという問題は山梨市にとっても重要な問題であるが、本市の現状とその対策についてはどうか。

答弁

市長

現在、母子健康手帳交付時に分娩場所が未定の妊婦には産科の状況を説明して、分娩場所の確保を指導している。市としても医師会等関係機関に産科医師の確保について再度要請を行っていきたくて考えている。医師の確保については、本市だけで解決で

一般質問

きる問題ではないが、峡東医療圏に所属する三市で自治体にてできることは何があるのか広域的な医療連携体制の中で対応していきたい。

真和会

岩崎友江

〈質問事項〉

- ・合併処理浄化槽について
- ・出勤表（タイムカード）について
- ・公民館活動等における市庁用バスの使用について

〈主な質問と答弁〉

問 公民館活動等における市庁用バスの使用について
平成二十年度から公民館活動が開始されるようだが、公民館活動の中へ庁用バスの使用などの位置付けをさせたい。

答弁

生涯学習課長
バスの利用状況により、使用できない場合もあるので、日常的な講座、教室の際はなるべく市営バスの利用や参加者の皆さんの乗り合わせなどでお互いに助け合っ

真和会

秋山榮治

〈質問事項〉

- ・市役所新庁舎建設について
- ・市民の目指すまちづくりについて
- ・企業立地促進法について
- ・議案第七十五号 平成十九年度山梨市一般会計補正予算（第四号）に関連して
- ・後屋敷小学校校庭拡張関係について

〈主な質問と答弁〉

問 企業立地促進法について「企業立地促進法」に関する基本的考え及び本市の取り組み状況は。

答弁

市長
県で設置された協議会と連動して、早期に（仮称）山梨市企業立地推進委員会を設置し、正徳寺農工団地五・一ヘクタール、倉科農工団地〇七ヘクタールの活用策の検討や事業用地の確保などに努め、本市出身者等の人脈を頼り、県外へ訪問し、事業所誘致優遇制度の情報の提供、進出企業の情報収集を行い、進めていきたいと考えている。

公明党

大竹裕子

〈質問事項〉

- ・災害情報システムの構築について
- ・「頑張る地方応援プログラム」について

- ・児童虐待発生予防対策の推進について
- ・連結バランスシートについて
- ・国民健康保険について
- ・介護保険制度の現状と今後の対策について
- ・横溝正史館の来訪者状況と今後の対応について

〈主な質問と答弁〉

問 介護保険制度の現状と今後におけるコムスの指定取り消しによる影響はどうか。



市役所内にある地域包括支援センター

答弁

保健課長
本市においては六十三名の方がコムスの訪問介護サービス、福祉用具貸与居宅介護支援サービスを利用して

今後のサービスのあり方や継続性への不安に対する相談に応じている。

吉田昭男

〈質問事項〉

- ・国保特別調整交付金の国の算定ミスによる過不足交付と国保財政調整交付金の県のミスによる過大交付金問題について
- ・地球温暖化防止策は可能なのところから急いで具体化を若者をはじめ市内への定住が増加する住宅助成制度について
- ・子どもの医療費窓口無料化を小学六年生まで拡大することについて
- ・市道等の占用料の徴収について

〈主な質問と答弁〉

問 子どもの医療費窓口無料化を小学六年生まで拡大することについて

既に実施している市町村の状況も十分に研究して必要不可欠の施策として優先順位を引き上げて父母の期待に添えるように求めるがどうか。

答弁

市民課長
県内一部市町村で導入している乳幼児医療費の対象年齢を小学校六年生まで引き上げた場合の医療費助成率を

本市の対象者で試算すると約三千六百万円の財源が必要となる。来年度実施となる窓口無料化に伴う増加の状況なども研究し、財政状況は非常に厳しい状況ではあるが、少子化対策として保護者の負担軽減を図るため、さらに段階的な範囲の拡大について研究をしていきたい。

市政会

雨宮巧

〈質問事項〉

- ・市営施設の利用状況について
- ・学校耐震補強工事について
- ・土地有効利用について
- ・ペット用火葬場について
- ・鳥獣害について

〈主な質問と答弁〉

問 ペット用火葬場について

住民サービスのひとつとして、東山聖苑の一部にペット用の炉を設置し、山梨市民や東山梨関係市だけでなく、近隣の方々への行政サービスとして検討してみたいかがか。

答弁

環境課長
あるとは思いますが、管理運営している東山梨行政事務組合へ伝える。また、甲府峡東地域ごみ処理施設事務組合においてもこのことについては検討をしている。

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は、九月十八日に開催され、付託された議案について慎重に審査が行われました。各常任委員会における質疑の要旨はつぎのとおりです。

総務

○議案第七十五号について

問 本市の空き家バンクに登録されている数は何件ぐらいいあり、その内空き家を買いたい、また、借りたいという人は何人いるのか。

答 空き家を借りたい、また、買いたいという希望者が総体的には一四一件ある。これに対して牧丘・三富地域を中心に、空き家の提供者の登録者数が三十件超となっている。

現在での成約件数は九件となっているが、今後においても定住促進事業に努力していきたい。



議案を審査する総務常任委員会

○議案第七十六号について

問 平成十九年度山梨市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)に関連して、繰越金が出ているようだが、今後安定した状態で運営しているのか。

答 今年度は過大交付を受け、約一億七千五百万円を、国に返還しなくてはならないことにより、県より借り入れをし、県に十年間、約二千万円を毎年返済することになると思われる。

また、平成十八年度から十九年度への繰越金が約一億八千万円となっても、平成十九年度の当初予算に基金から繰入金を約一億四千二百万円見込んでいるため、繰越金を充当し基金の保有額を確保するので、実情の繰越金は少なくなる。

この状況に加え、来年度、医療保険制度の改正に伴い、特定検診に係る経費など負担増が見込まれる事から、厳しい国保運営になるものと思われる。

委員会での審査のあと、「市役所東市有地」の現地調査を行いました。

建設経済

○議案第七十五号について

問 平成十九年度山梨市一般会計補正予算(第四号)の内、農業委員会費について、農業振興地域について、個人からの除外申請の受付の見通しは。

答 現在、国、県と協議をする中で、整備計画の総合見直しを行っており、見直しが終わり次第、直ちに個人からの除外申請の受付ができるようにしたい。

問 野背坂線改良事業の進捗状況はどうなっているのか。

答 今年度においては、路線測量、詳細設計、用地測量、用地調査の委託を出し、来年度から本格的な用地交渉に入る予定である。

問 恋人の聖地については、具体的に何をやるのか。

答 フルーツ公園内に銘板を設置し、恋人達の語らいの場や散策コースに取り入れることを考えている。また、若い人だけでなく、様々な年代の方が集えるような場所として利用していきたい。

要望 農業振興地域について、個人からの除外申請の受付については、早期に実施するように配慮されたい。また、恋人の聖地については、長期的な展望に立って、趣旨に沿った計画を立ててもらいたい。



議案を審査する建設経済常任委員会

教育民生

○議案第七十五号について

問 特別教育支援員について、今回補正予算が出され、十一校、十一名が配置されるということだが、勤務時間及び業務内容は。

答 基本的には一日五・五時間の勤務で、業務内容は普通学校の普通学級に潜在的にいるとされる学習障害、多動性障害等の児童、生徒の対応となっている。

○議案第七十九号について

問 現年度分、過年度分の介護保険費繰入金が発生する理由は何か。

答 現年度分の介護保険費繰入金については、給付費の十二・五%を一般会計から繰り入れるという制度上のルールとなっている。また、過年度分については、介護保険料は給付費の財源として使うというルールがあるため、一般的な事務費、人件費については、全て一般会計から繰り入れることになっている。従って過年度において給付財源とすべきものを総務費系に充当した経費があるので、その分を一般会計から繰り入れ、今年度、給付費に充当するというものである。

委員会での審査のあと、「市役所東市有地」根津記念館の現地調査を行いました。



議案を審査する教育民生常任委員会

議会活動日誌

- 9月.....防災訓練(1日)
-第2回山梨市総合体育祭り(2日)
-平成19年第3回山梨市議会定例会
(3日~28日)
-民生委員推薦会委員委嘱式及び推薦会
(5日)
-第23回山梨市巨峰の丘マラソン大会
(16日)
-新100歳長寿者の慶祝訪問(17日)
-決算特別委員会(20日~25日)
-議会運営委員会(28日)
-第2回笛吹川源流まつり(30日)



9月16日、牧丘地区で第23回山梨市巨峰の丘マラソン大会が行われ、約2,200人が参加しました。

- 10月.....山梨市農地いきいき特区事業「稲刈り」(6日)
-山梨県市議会議長会正副会長・事務局長会議
(12日)
-山梨市制施行2周年記念式典(15日)
-第238回山梨県市議会議長会定期総会
(19日)
-新潟県上越市議会行政視察(23日)
-議員全員協議会(24日)
-第3回山梨市健康まつり(27日)
-西関東連絡道路整備促進期成同盟会
設立総会 (30日)



10月19日、北杜市において第238回山梨県市議会議長会定期総会が行われ、正副議長が出席しました。

- 11月.....長野県飯山市議会行政視察(8日)
-平成19年度山梨市義務教育振興会議
(13日)
-甲武信源流サミット・ECOフェスタ(18日)



11月8日、長野県飯山市議会議会運営委員会が山梨市議会を訪れ、議会運営について行政視察を行いました。

西関東連絡道路整備促進期成同盟会が設立されました

十月三十日、西関東連絡道路整備促進期成同盟会の設立総会が夢わく山梨で開催され、多数の市議会議員が参加しました。

この同盟会は県の呼び掛けにより、沿線の整備促進を図るため関係四市(甲府市・山梨市・笛吹市・甲州市)の市長・議長などが中心となり設立したものです。
今後は、埼玉県側との連携を図りながら西関東連絡道路の全体的な整備を目指していきます。

編集後記

周囲の山々の紅葉も深まり、寒さも一段と増してまいりましたが、市民の皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。

今回の議会だより第十一号は、九月定例会で審議しました平成十八年度決算認定、各補正予算および新庁舎整備事業と国民健康保険財政調整交付金の過大交付などが主な内容であります。

なお、今年度より決算特別委員会を九月議会中に設置し、審査を行うこととなり、議会運営の改革を行ったこと



西関東連絡道路整備促進期成同盟会設立総会の様子

ろであります。

さて、本市においては市の基本指針とも言うべき総合計画や都市計画マスタープランなどが策定され、今後、計画に基づいた様々な施策が取り組まれます。

どうか皆様のご意見やご感想をお寄せください。

これから日いち日と寒さを感じる季節となりますが、お体には十分ご自愛ください。

議会だより編集委員会

- 委員長 向山 輝
- 副委員長 大竹 裕子
- 委員 山崎 峰三
- 委員 大久保 光男
- 委員 高原 信道
- 委員 雨宮 義和